



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 5・17～32

心の中の罪

兄弟に対して怒る者は、だれでも裁判を受けねばならない。

マタイ 5・22

目標

内面の罪を知り、キリストによって心の内をきよめて頂く。

7月6日(日)

聖書  
聖句

マタイ 5・22～23

兄弟に対して怒る者は、だれでも裁判を受けねばならない。 22節

すべての人は神様につくられ、愛され、大切な一人ひとりだって知ってるかな？ でもあなたはどうか？ 心の中で「ばか！ きらい！ あっちに行け」って思ったり、いじわるなことを考えるのは、そう言ってるのと同じことだって。言わなくても、心の中で傷つけたら同じことだって、イエス様は言ってるよ。それは罪だって。

そういうわたしたちの罪のために、イエス様は来てくれて、身代わりの十字架にかかられたんだね！ 罪の心をきれいにしてくださるイエス様を信じようね。

祈り

天のお父様、人を傷つける心の罪をおわびします。そして、イエス様の十字架を信じます。心をきれいにしてください。

7月7日(月)

聖書  
聖句

マタイ 5・17～20

廃するためではなく、成就するためにきたのである。 17節

なにかやり始めたのに「あ～めんどくさっ、や～めた」ってすぐにあきらめる人はだあれ？

でもね、聖書を読み、学んでみると「イエス様ってほんとにすごい！」って思うのです。

それは、律法、つまり神様の教えを、人はとても守れないし、理解できないけれど、イエス様はそうじゃないってわかるから！

イエス様は、神様の思いをわたしたちに教え、お手本になって、律法をこれっぽっちもムダにしないで、完成するために来られた、ただ一人のお方だね！

祈り

天のお父様、律法を 100 パーセントわかり、行えるイエス様は、本当にあなたのひとり子です！

7月8日(火)

聖書  
聖句

マタイ 5・17～20

これをおこないまたそう教える者は、天国でいなる者とよばれるであろう。 19節

聖書の中で、ほんの一人の教えを守れないとき、「天国でいちばん小さい人」って呼ばれちゃうみたい。だったら、どんなにがんばっても、どんなにすごい人も、天国で「いちばん大きい人」「よくがんばった人」になんてなれないじゃないか～！って考えこんじゃうよね。天国にだって入れてもらえないかも…。

そう。人間のがんばりや行いでは、天国に入るのはとってもむずかしいんだ。だからこそ、イエス様にたよるんだよね！

祈り

天のお父様、あなたのおしえを守ることや行うことはとてもむずかしくて、自分の力で天国には行けません。イエス様にたよるしかないわたしです。

7月9日(水)

聖書  
聖句

マタイ 5・17～20

あなたがたの義が律法学者やパリサイ人の義にまさっていなければ、決して天国に、はいることはできない。  
20節

律法学者は、旧約聖書の先生。聖書を研究して、それを人に教え行う人たちでした。パリサイ人も、一週間に二回は断食するし、献金だつてきっちりします。どちらもかんぺきでかんじの人たち。でも、心の中では律法を守らない人や外国人をバカにしていました。イエスは、ただ行いだけがかんぺきで、正しいように見える、律法学者やパリサイ人のようではいけないことを教えたかったんだね。

いのちの祈り 天のお父様、わたしも、ただ見た目や行いで自分が正しいように見せていることがあります。ごめんなさい。

7月10日(木)

聖書  
聖句

マタイ 5・23～24

まず行ってその兄弟と和解し、それから帰ってきて、供え物をささげることにしなさい。  
24節

心の中をよくごらんになる神様。あなたは、その神様の前でポンプン怒りながら礼拝できるかな？ 神様はどう思うだろうね？

イエス様はなんの悪いところもないのに、自分からすべての人の罪を背負って十字架で死なれました。そう、あなたの罪もね。

だから、そのイエス様のことが心からわかる人は、自分の方からみんなを赦し、「ごめん」って言われる前に「ごめん」って言える人でいよう。そして、きれいな心になって、礼拝にでかけよう！

いのちの祈り 天のお父様、だれかとケンカしたとき、ちゃんと「ごめん」を言えて仲直りしてから礼拝にでかけられますように。

7月11日(金)

聖書  
聖句

マタイ 5・25～26

あなたを訴える者と一緒に道を行く時には、その途中で早く仲直りをしなさい。  
25節

「どうしていじわるするの？」「わたしのもの盗んだ！」などと言われるのを「訴えられる」って言うんだね。ほかにも色んなことで訴えられるかもしれません。

もし、その人といっしょに歩いて行くとしたら、「いつか」ではなく「なるべく早く」心から「ごめんなさい」と言って仲直りしよう。そうしないと、とんでもないことになって、牢屋に入れられるかもしれないというお話です。

いのちの祈り 天のお父様、「ごめんなさい」と言うのをいつも「いつか」にしていました。でも、たいへんなことになる前に「早く」そうできますように。

7月12日(土)

聖書  
聖句

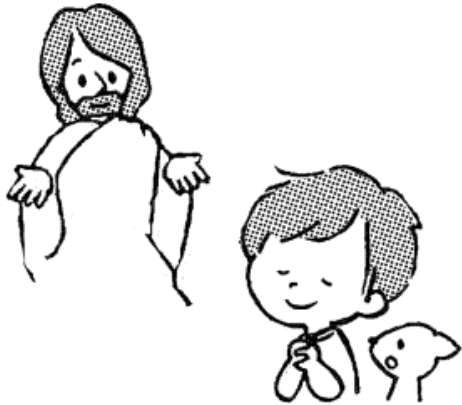
マタイ 5・00～32

もしあなたの右の手が罪を犯させるなら、それを切って捨てなさい。  
30節

「右の目が罪を犯させるなら、それを抜き出して捨てなさい」ともあります。天国に行くのはなんてむずかしく、きびしいだろう。

今週学んできたことは、小さなわたしたちにはできないことだらけ。でもね、聖書には「御子イエスの血が、すべての罪からわたしたちをきよめるのである」(Iヨハネ1・7)って書いてあるよ！ このお言葉をしっかりと信じ、イエス様にたよりきって生きていくしかないよね！

いのちの祈り 天のお父様、わたしの心の中がどんなに罪深いかわかりました。イエス様の十字架の血が罪をきよめてくださることを信じて生きていきます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 6・7～13

主の祈り

御国がきますように。みこころが天に行われるとおり、地にも行われますように。 マタイ 6・10  
意味を知って「主の祈り」をささげる者となる。

目標

7月13日（日）

聖書  
聖句

マタイ 6・7～8

あなたがたの父なる神は、求めない先から、あなたがたに必要なものはご存じなのである。 8節

今週は、イエス様が教えられた「主の祈り」を学びます！ その前に、大切なことをひとつ。祈りは、同じことをダラダラなが〜く祈ればよいではありません。たとえ短くても、真剣に心をこめて祈ることが大切です。

イエス様は言われました、「神様は、あなたがたが祈る前から、必要なものを知っておられる」。えっ？じゃあ、祈らなくてもいいんじゃない？いいえ、自分のお願いを祈ることだけが祈りではないんですよ。「主の祈り」をとおして、わたしたちが本当に祈るべきことを学びましょう。

祈り 天のお父様、わたしが本当に祈るべきことを教えてください。

7月14日（月）

聖書  
聖句

マタイ 6・9

天にいますわれらの父よ。御名があらがめられますように。 9節

わたしたちは「天のお父様！」と神様に呼びかけますね。それは、「全宇宙を治めておられる、わたしたちのお父さん！」と呼んでいるのです。世界中の人が、天のお父様だけをほめたたえますように！という祈りです。これが、イエス様がいちばんはじめに教えてくださった祈り。

わたしたちの周りには、天のお父様以外の、人間がつくった偶像がいっぱいありますね。天のお父様を知らない人、信じようとしらない人が拝んでいます。天のお父様はどんなに悲しんでおられることでしょう。だからこそ、わたしたちが、まずいちばんに祈るべきことなのです。

祈り 天のお父様、あなただけがほめたたえられますように、まずいちばんに祈ります。

7月15日（火）

聖書  
聖句

マタイ 6・10

御国がきますように。みこころが天に行われるとおり、地にも行われますように。 10節

次は、神様だけが治める国が早くきますように、そして神様のみこころが、この地上で行われますように！という祈りです。わたしたちの心を神様が治めてください、わたしたちを通して、みこころを行ってください！という意味もあります。

わたしたちが住んでいるこの地上は、神様が悲しまれる罪でいっぱいです。ですから、この祈りは本当に大切な祈りなのです。神様が治めてくださる国とみこころが、わたしたちから広がって行くように祈りましょう。

祈り 天のお父様、わたしたちの心を治めてください。わたしたちを通して、神様の治める国とみこころが広がりますように。

## 7月16日(水)



マタイ 6・11

わたしたちの日ごとの食物を、きょうもお与えください。 11節

次は、わたしたちに必要なものを求める祈りです。毎日のお食事、着る服、住む家、など。わたしたちが食べるご飯や着る服は、あるのが当たり前ではありません。たとえば、地震がきたり、火事になったりしたら、何もかも無くなってしまう可能性が誰にでもあるでしょう！

すべてのものは、わたしたちの必要を知っておられる神様が与えてくださっているのです。それがわかると、この祈りの大切さもわかりますね。神様に心から感謝し、わたしたちにとって必要なものを与えてください、と祈りましょう。

**いの祈り** 天のお父様、わたしたちの必要をいつも与えてくださり感謝します。これからも必要なものをお与えください。

## 7月17日(木)



マタイ 6・12

わたしたちに負債のある者をゆるしましたように、わたしたちの負債をもゆるしてください。 12節

「負債」というのは、ここでは罪のことを言っています。わたしたちに罪を犯した人をゆるしたように、わたしたちの罪をゆるしてください、という祈りです。

イエス様は命を捨てて、わたしたちをゆるしてくださいました。イエス様にゆるされた人は、ゆるされたことを感謝して、ゆるす人になるのです。怒りや憎しみだらけの世界なのに、「ゆるします」と祈れるのは、なんとすばらしいことでしょう！ わたしたちがゆるされたことと、わたしたちがゆるすこと。これはいつもワンセットです。

**いの祈り** 天のお父様、イエス様がゆるされたように、わたしもゆるす人になれるように。

## 7月18日(金)



マタイ 6・13

わたしたちを試みに会わせないうで、悪しき者からお救いください。 13節

この祈りは、わたしたちが嫌なことにあいまませんように！ という意味ではありません。わたしたちを神様から引き離す悪い力から、守ってください！ という祈りです。かんちがいしやすいのですが、自分にとって嫌なことにあうことが本当の問題ではないのです。本当に問題なのは、神様から離れてしまうこと。

罪の誘惑という悪い力は、いつもわたしたちを襲ってきます。自分の力に頼っていたら、あっという間に誘惑に負けて、神様から離れてしまいます。だから、神様に頼って、まもっていただくように祈るのです。

**いの祈り** 天のお父様、神様から引きはなす悪い力から、どうぞおまもりください。

## 7月19日(土)



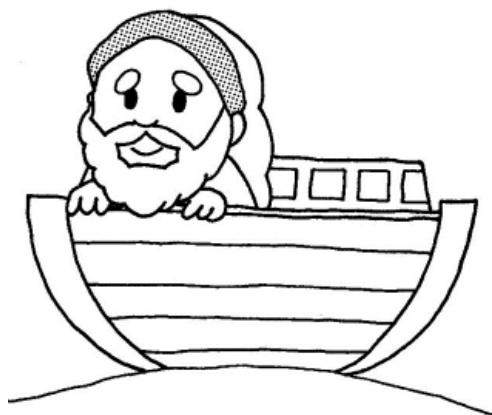
マタイ 6・7~13

御国がきますように。みこころが天に行われるとおりに、地にも行われますように。 10節

わたしたちは、自分のお願いを祈ることが祈りだと思いがち。でも、イエス様はわたしたちが本当に祈らなければならない「主の祈り」を教えてくださいました。教えられたすべての祈りの中に、神様のみこころだけが行われますように、神様のみこころをわたしたちに行ってください、という意味がこめられています。

毎週、なんとなく祈っていた「主の祈り」。でも、わたしたちにとっていちばん大切な祈りだということがわかりましたね。これからは、本当の意味を考えながら、心をこめて祈っていきましょう。

**いの祈り** 天のお父様、これからは、「主の祈り」を心をこめて祈ります。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

創世記 7・1～24  
箱舟なるキリスト  
あなたと家族とはみな箱舟には  
いりなさい。 創世記 7・1

目標

箱舟なるキリストを信じ、その  
救いの中に入る者となる。

7月20日（日）

聖書  
聖句

創世記 7・1～24  
あなたと家族とはみな箱舟には  
いりなさい。 1節

ノアが六百才の2月17日に起こった大洪水。  
想像できますか？ 日本に、3月11日に起こった  
地震と津波！ ここは大丈夫と思っていた高い  
所も津波に押し流されました。ノアの大洪水  
の時も人々は高い山にのがれましたが、地は全  
面、全く水におおわれてしまい、箱舟の外の生  
き物はすべて滅びてしまったのでした。生き  
残ったのは、箱舟の中のノアたち、たった8人  
だけでした。今、私たちが入って救われる箱舟  
とは、「イエス様」です。信じて救われよう！

祈り

天のお父様、この世は罪と汚れの大洪水  
です。イエス様を信じて罪の中から救わ  
れます。救いの箱舟を感謝します。

7月21日（月）

聖書  
聖句

創世記 7・1～5  
あなたと家族とはみな箱舟には  
いりなさい。 1節

今週の暗唱聖句です。もう覚え了吗？  
きょう注目したいのは、「あなたの家族」、特  
に、『家族』という言葉です。ノアの家族は、奥  
さんと、3人の息子たち、そしてそのお嫁さん  
たちで、合計8人家族でした。その8人だけが  
洪水から救われました。神様は、家族ぐるみ救  
おうとしておられるのです。あなたの家族は何  
人なのかな？ みんなクリスチャンなら  
大感謝！ まだの人がいたら、「救ってくださ  
い」と神様にしっかりお祈りし続けましょう。

祈り

天のお父様、あなたは家族みんなの救い  
を願ってくださり感謝します。私  
の家族も全員救われますように。

7月22日（火）

聖書  
聖句

創世記 7・1～5  
ノアはすべて主が命じられたよう  
にした。 5節

誰もが一つの口と二つの耳を与えられてい  
ます。神様が、「よく聞くのですよ。聞くこと  
が一番大切ですよ」とおっしゃっておられるよ  
うですね。ノアはでっかい耳を二つ与えられて  
いたのでしょうか？ いいえ、耳の大きさでは  
なく、神様のみ声がよく聞ける、心の耳がしっ  
かり開かれていたのです。だから、よく聞こえ  
て、そしてちゃんと言われたとおりにできたの  
ですね。これを従順、すなおに従う心と言  
います。すなおに従う心で聞いてこそ、はじ  
めて聞いたこととなります。

祈り

天のお父様、救いのためには、ノアのよ  
く聞こえた心の耳と、すなおに従う  
心が大切だったことを知りました。

7月23日(水)

聖書  
聖句

創世記 7・1～5

また空の鳥の中から雄と雌とを七つずつ取って、その種類が全地のおもてに生き残るようにしなさい。3節

「清い獣の中から雄と雌とを二つずつ」

「空の鳥の中から雄と雌とを七つずつ」取るように、との神様の命令でした。ノアはすべて、神様が命じられるようにしたのでした！ 小さな犬や猫やうさぎやらをつかまえるのはいいけど、それでも逃げ回られると大変！ 大きな動物やこわそうな動物、それに空の鳥もつかまえるのですから、大変だったのかなアと思ってしまいます。きっと神様の助けがあったのでしょう。

いのちの祈り

天のお父様、あなたのご命令が大変に思えても、あなたの方から助けてくださってできると信じます。

7月24日(木)

聖書  
聖句

創世記 7・6～12

こうして七日の後、洪水が地に起った。10節

「七日の後、わたしは四十日四十夜、地に雨を降らせて、わたしの造ったすべての生き物を、地のおもてからぬぐい去ります」(4)と、神様はノアに言われました。「あと七日しかない」とノアは心ひきしめる思いで聞いたことでしょう。なぜなら、神様が言われたことは、必ずその通りなるということを知っていたからです。ノアは人々に洪水のことを伝えたにちがひありません。でも人々は、ノアと家族のことをバカにして聞く耳をもたなかったのです。

いのちの祈り

天のお父様、あなたの言われたとおり、七日後に洪水が起こり、四十日四十夜、雨でした。み言葉に聞き従います。

7月25日(金)

聖書  
聖句

創世記 7・13～16

そこで主は彼のうしろの戸を閉ざされた。16節

電車にすべり込み「セーフ！」で乗り込んで、うしろの戸がスーッとしまったなんて経験ありますか？ ひや汗ものでしょう。今は電車の戸も、自分で閉めるものはほとんどないでしょう。ノアの箱舟の入口の戸も、実は、ノアや家族の誰かが閉めたものではありませんでした。「主は彼のうしろの戸を閉ざされた」とありますから、まちがいなく神様でした！ するともう絶対に外から入れません。救いの戸は閉ざされたのです。でも、「キリストの救いの戸」は、今も開いているから大丈夫！

いのちの祈り

天のお父様、今はまだイエス様による救いの戸はオープンなので感謝です。家族みんなが救われますように。

7月26日(土)

聖書  
聖句

使徒行伝 16・25～34

主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます。31節

このみ言葉の約束が、どんなに真実であるか、たくさんの家族が声をそろえて、「アーメン」と言うにちがひありません。この場面は、パウロとシラスが足かせをかけられ牢獄に入れられて、最悪と思えるところです。しかし、ふたりは神に祈り、さんびを歌いつづけ、そこに神様による大地震が起こり、獄の戸があき、囚人の鎖がとけるといふ奇跡！ しかし、もっと大きな奇跡は、この獄屋番とその家族が主イエスを信じ救われ、バプテスマを受けたことでした！

いのちの祈り

天のお父様、家族の救いのための素晴らしいお約束のみ言葉をありがとうございます。信じて祈っていきます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

創世記 12・1～9

神による旅立ち

あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。 創世記 12・1

目標

罪から離別し、神の導きに従って生きる者となる。

7月27日（日）

聖書  
聖句

創世記 12・1～9

あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。 1節

夏休みです。家族旅行の計画なんかうれしいですね。何泊するのか？ どこまで行くのかな？ もちろんうちの人は、ちゃんと目的地も旅費も帰ってくる日も決めて実行します。アブラムさんは、と言うと…「えー、どこへ行くのかわかりません。あー、何日旅に出るのかわかりません。うーん、いつ帰ってくるのか、もう帰らないのかわかりません」というような旅立ちでした！ ただし、まことの神様を信じて、神様の導きにお従いする旅でした。

祈り

天のお父様、アブラムさんたちのために、あなたはきっと素晴らしいご計画を持って導かれたのだと信じます。

7月28日（月）

聖書  
聖句

創世記 12・1～3

あなたは祝福の基となるであろう。 2節

池の中に小石をひとつポトンと投げ込むと、どうなりますか？ そこから、波紋がずん、ずん、ずんと広がっていきますね。神様はアブラムさんをその小石のように、そう、祝福の輪を広げていく小石のように選ばれました。お父さんのテラと出てきたそのウルの町は、月や星を拝む偶像崇拜の町でした。そこからきっぱり離れました。そして神様の導きにお従いしていく時、アブラムさんは祝福され、祝福の基として祝福を広げていくとの約束でした。

祈り

天のお父様、祝福の輪を広げる小石になれるなんて最高です。私もアブラムさんのようにあなたを信じ、あなたに従いたいです。

7月29日（火）

聖書  
聖句

創世記 12・4～5

アブラムは主が言われたようにいで立った。 4節

新しい出発！ と言っても、ピカピカの一年生ではありません。アブラムさんはなんと七十五才、そのお年で、新たな旅立ちでした。「主が言われたようにいで立った」のでした。いくつになっても、どんな時でも、どんなところへでも、どんな人とでも、どんなことでも従う、これが本物の信仰なのですね。アブラムさんと奥さんのサライさん、弟の子、つまりおいのロトさん、集めたすべての財産プラス何人かのひとりが旅行団でした。団長は神様でしたね！

祈り

天のお父様、あなたが言われたようにお従いする信仰をもって、アブラムさんのように祝福の基とされたいです。

7月30日(水)

聖書  
聖句

創世記 12・6～9

そこに彼は主のために祭壇を築いて、主の名を呼んだ。 8節

アブラムさんがいつも神様を一番にしていたのがよくわかります。神様に示されたカナンの地に来て、モレのテレビンの木のもとに着いたアブラムさんに、神様が現れてくださって、「わたしはあなたの子孫にこの地を与えます」と言われました。アブラムはそこに主のために祭壇を築きました。さらにベテルの東の山に移って、またそこにも祭壇を築きました。神様とお話できる所、今は十字架のもとですね。十字架の祭壇の前でお祈りしましょう。

いの  
祈り

天のお父様、そこに行くといつでも十字架を仰いで、お祈りができるような、お祈りの場所をつくり、祈ります。

7月31日(木)

聖書  
聖句

創世記 13・1～7

アブラムの家畜の牧者たちとロトの家畜の牧者たちの間に争いがあった。 7節

おっとっと、祝福の基軍団の中に、争いが起こってきてしまいましたよ。アブラムさんは家畜もいっぱい飼っていたし、金銀にも非常に富んでいました。おいのロトさんも、羊、牛、そして天幕を持っていたのです。それで、彼らの家畜が多すぎるようになってしまい、その地ではおさまり切れなくなったのです。そうになると、それぞれの家畜の牧者たち同士が争い始めてしまいました。財産や持ち物が十分にあると、とかく問題が起こりやすいですね。

いの  
祈り

天のお父様、豊かに祝福されている中でも、すべてはあなたからの恵みであることを決して忘れないで、平和に過ごしたいです。

8月1日(金)

聖書  
聖句

創世記 13・8～13

アブラムはカナンの地に住んだが、ロトは低地の町々に住み、天幕をソドムに移した。 12節

「身内同士で争うのは良くない。私たちは別れましょう。さあ、良い地を選んでください」と、アブラムさんがおいのロトさんに言いました。「いえいえ、おじさん、あなたがまず選んでください」と、ロトさんは言わなかったのです！ロトさんの心は欲の心、目は欲の目で、主の園のようにすみずみまでよく潤っていたヨルダンの低地を先に取りました。ロトは罪びとたちの住むソドムに天幕を移しました。欲の心や欲の目で選ぶととても危険ですね。

いの  
祈り

天のお父様、何かを選ぶ時、どちらかに進む時、自分の欲の心や目で選ぶことがないように、お守りください。

8月2日(土)

聖書  
聖句

創世記 13・14～18

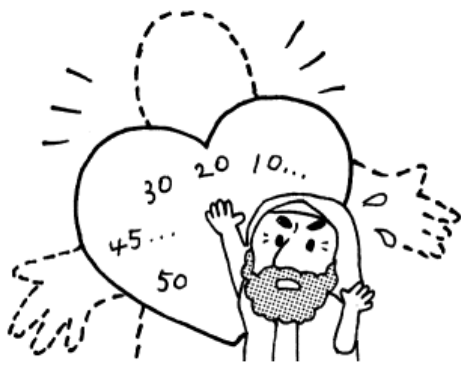
わたしはあなたの子孫を地のちりのように多くします。 16節

再び、神様からの祝福のお約束がアブラムさんに臨みました。それは、「ロトがアブラムに別れた後に」でした(14)。欲深いロトさんとその一行にお別れしたあとでした。何と豊かな神様からの祝福のお約束でしょう！あなたが見わたす地はすべて、永久にあなたとあなたの子孫に与えます。あなたの子孫を地のちりのように多くします。私たちもアブラムさんのように、偶像崇拜の罪、その他の罪から離れ、ロトさんのような欲からも離れましょう。

いの  
祈り

天のお父様、アブラムさんのように、しっかりあなたに従って、豊かに祝福され、祝福を流れさせてください。





聖書  
テーマ  
暗唱聖句

創世記18・16～33

アブラハムのとりなし

わたしのしようとする事をアブラハムに隠してよいであろうか。

創世記18・17

目標

神の思いを知りつつ、とりなしの祈る者となる。

8月3日（日）

聖書  
聖句

創世記18・16～17

わたしのしようとする事をアブラハムに隠してよいであろうか。 17節

「とりなしの祈り」という言葉を知っていますか？ 自分以外の、誰かのために祈ることです。アブラハムは、ほかの誰かのために、一生懸命祈る人でした。

今週は、神様がアブラハムにある重大なことをお話される場面を読んでいます。お話を聞いたアブラハムは、どんなふうに祈ったのかな？ さあ、「とりなしの祈り」について学んでいきますよ。いつも自分のことばかり祈っているな～と思った、あなた。アブラハムの「とりなし祈り」を、しっかり学んでください。あなたの祈りも、きっと変わっていきますから。

祈り 天のお父様、アブラハムの「とりなしの祈り」を、しっかり学ばせてください。

8月4日（月）

聖書  
聖句

創世記18・16～19

地のすべての民がみな、彼によって祝福を受けるのではないか。 18節

神様が、アブラハムに重大なお話をしようとしたのには、理由がありました。神様は、「アブラハムをとおして全世界を祝福したい！そして、彼と彼の子孫に正しく生きてほしい！」と願っておられました。そこで、神様の思いをアブラハムにお話をしよう、と決められたのです。

同じように、神様はわたしたちにも「祝福したい、正しく生きてほしい」と願っておられます。だから、毎日、聖書をとおして大切なお話をしてくださるのです。神様がわたしたちにお話をしたいと思われているから、わたしたちは聖書のみことばを読むのですよ。

祈り 天のお父様、いつもみことばをとおして、あなたのお話を聞かせてください。

8月5日（火）

聖書  
聖句

創世記18・20～21

ソドムとゴモラの叫びは大きく、またその罪は非常に重い。 20節

ついに、神様はアブラハムに重大発表をされました。ソドムとゴモラという町の人々が、罪を犯しつづけてやめないので、それを確かめてから、町ぜんぶを滅ぼされるということです…！そ、そんな！アブラハムは大ショック！ソドムには、彼の甥であるロトと、ロトの家族が住んでいたのです。

神様は、正しいお方です。罪をそのまま放ってはおけません。神様はやさしい愛のお方ですが、罪を放っておくことが本当の愛ではないのです。罪は必ずさばかれる。神様は、このことをはっきりとアブラハムに教えられたのです。

祈り 天のお父様、あなたが正しいお方であることを、わたしが忘れないように助けてください。

## 8月6日(水)



創世記18・22～25

アブラハムはなお、主の前に立って  
いた。 22節

神様のみ使いたちが、ソドムとゴモラの罪を  
確かめるために向かっていきました。このまま  
では、ソドムとゴモラは滅ぼされる！真っ青に  
なったアブラハムは、神様にこう言いました、  
「神様！町には正しい人が50人いるかもしれ  
ません。あなたは正しい人まで滅ぼすお方では  
ありません。世界をさばく神様は正しいお方では  
ありませんか！」。

アブラハムは神様に祈るために、神様の前に  
立って離れませんでした。聞いていただくまで  
は、離れるわけにはいきませんでした。「どうか  
滅ぼさないでください！」という、アブラハム  
の必死のとりなしの祈りが始まったのです。

**いの祈り** 天のお父様、わたしも神様から離れないで  
祈りつづける人とならせてください。

## 8月7日(木)



創世記18・26～29

わたしはちり灰に過ぎませんが、あ  
えてわが主に申します。 27節

神様はアブラハムに、「正しい人が50人いた  
ら、ゆるそう」と言われました。しかし、アブ  
ラハムは満足しませんでした。「50人いなかった  
らどうしよう…」と考えたのです。そして、「わ  
たしは神様の前には、ちりのような者ですが、  
もう一度言わせてください。正しい人は45人か  
もしれません…」と祈りました。さらに、「いや  
40人かもしれません」と祈りました。すると神様  
は、「40人いたら、ゆるそう」と答えてくださっ  
たのです。

アブラハムの祈りは、一度ではおわりません  
でした。何度も何度も、神様にとりなしの祈り  
をしたのです。

**いの祈り** 天のお父様、わたしも何度もとりなしの祈り  
をする人とならせてください。

## 8月8日(金)



創世記18・30～33

わたしはその十人のために滅ぼさな  
いであろう。 32節

アブラハムのとりなしの祈りは、さらにつづ  
きます。「神様、正しい人は30人だけかもしれま  
せん…」、「いや20人だとしたら…」、「もし、10人  
だったら…」。何度も祈るアブラハム。普通だっ  
たら、「もう、しつこい～！」と怒られそうです  
よね。しかし神様は「10人いたら滅ぼさない」  
と、やさしくアブラハムに答えてくださったの  
です。

神様は罪をさばかれるお方なのに、たった10  
人の正しい人のために町の全員をゆるす、と約  
束されました。神様は正しいお方、しかし誰よ  
りもあわれみ深い、愛のお方なのです。

**いの祈り** 天のお父様、誰よりもあわれみ深い、あな  
たの愛を心から感謝します。

## 8月9日(土)



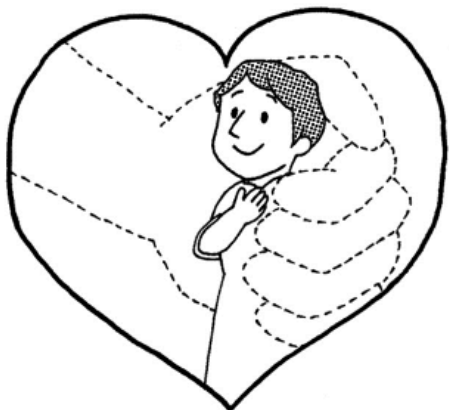
創世記18・16～33

わたしにしようとする事をアブラハ  
ムに隠してよいであろうか。 17節

神様が、聖書のみことばをとおして、わたし  
たちにも重大発表をしておられます。それは、  
神様が、今度は全世界の罪をさばかれるという  
ことです。イエス様の十字架を信じない人々は、  
罪をさばかれ、滅びてしまうのです！

もう、自分のことだけ祈っている場合ではあ  
りません。家族やお友だちがイエス様を信じる  
ことができますように！と、今度はあなたが、  
本気でとりなしの祈りをする人になってくださ  
い。あなたの祈りで、滅びから救われる人がい  
るのです。神様は、あなたのとりなしの祈りを  
まっておられます。

**いの祈り** 天のお父様、わたしのとりなしの祈りをと  
おして、救われる人がおこされますように。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

創世記 28・10～22

神がこの所に

まことに主がこの所におられるのに、わたしは知らなかった。

創世記 28・16

目標

共におられる神に目を向けて生きる。

8月10日(日)

聖書  
聖句

創世記 28・10～22

まことに主がこの所におられるのに、わたしは知らなかった。 16節

「えーっ、こんな所<sup>ところ</sup>に教会<sup>きょうかい</sup>があったんだー」と、今まで何回もその道<sup>みち</sup>を通<sup>とお</sup>っていても見えていなかったということがあります。心<sup>こころ</sup>の目<sup>め</sup>が開<sup>ひら</sup>いていなかったのですね。ヤコブもそうでした。「えーっ、ここに神様<sup>かみさま</sup>が共にいてくださったのに、わたしは知らなかった」と叫<sup>さけ</sup>んだのでした。それは一番大切<sup>いちばんたいせつ</sup>なお方<sup>かた</sup>、共にいてくださる神様<sup>かみさま</sup>に、心<sup>こころ</sup>の目<sup>め</sup>が向けられた最高<sup>さいこう</sup>に幸<sup>しあわ</sup>せな瞬間<sup>しゅんかん</sup>でした。今<sup>いま</sup>、この神様<sup>かみさま</sup>は、信<sup>し</sup>じるわたしとも共にいてくださることを知<sup>し</sup>っていますか？

祈り

天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>、肉眼<sup>にくがん</sup>では見えないあなたを、心<sup>こころ</sup>の目<sup>め</sup>を開<sup>ひら</sup>いて、いつもしっかりみなまに毎日<sup>まいにち</sup>歩いていけますように。

8月11日(月)

聖書  
聖句

創世記 28・10～11

一つの所<sup>ところ</sup>に着<sup>つ</sup>いた時<sup>とき</sup>、日<sup>ひ</sup>が暮<sup>く</sup>れたので、そこに一夜<sup>いちや</sup>を過<sup>す</sup>ごし、その所<sup>ところ</sup>の石<sup>いし</sup>を取<sup>と</sup>ってまくらとし、そこに伏<sup>ふ</sup>して寝<sup>ね</sup>た。 11節

あなたも一人旅<sup>ひとりたび</sup>をしたことがありますか？ まだないでしょうね。子どもだけで電車<sup>でんしゃ</sup>に乗<sup>の</sup>ってという旅行<sup>りょこう</sup>はあるかな？ このヤコブは全くひとりぼっち、しかも初めて家<sup>いえ</sup>から出<sup>で</sup>たのです。レンズ豆<sup>まめとう</sup>の時<sup>とき</sup>だけでなく、そのあともう一度<sup>いちど</sup>、父<sup>ちち</sup>と兄<sup>あに</sup>をだまして「祝福<sup>しゅくふく</sup>」を奪<sup>うば</sup>ってしまい、もう家にいられなくて旅<sup>たび</sup>に出<sup>で</sup>ました。夜<sup>よる</sup>になり冷<sup>つめ</sup>たい石<sup>いし</sup>をまくらにして、どんなに心細<sup>こころぼそ</sup>かったことでしょう。一つの所<sup>ところ</sup>に着<sup>つ</sup>いた時<sup>とき</sup>、実はそこで神様<sup>かみさま</sup>がヤコブを待<sup>まち</sup>っていました！

祈り

天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>、人<sup>ひと</sup>がたったひとり<sup>ひとり</sup>でいる時<sup>とき</sup>、あなたが近づ<sup>ちか</sup>づいてくださるとわかって、ひとり<sup>ひとり</sup>でいても恐<sup>こわ</sup>くありません。

8月12日(火)

聖書  
聖句

創世記 28・12

時に彼は夢<sup>ゆめ</sup>を見た。 12節

「きょうはどんな夢<sup>ゆめ</sup>が見えるのかな」と毎晩<sup>まいばん</sup>、楽<sup>たの</sup>しみに寝<sup>ね</sup>る人もあるそうです。あなたもよく夢<sup>ゆめ</sup>を見ますか？ イエス様<sup>イエスさま</sup>の夢<sup>ゆめ</sup>だと最高<sup>さいこう</sup>ですね！ でも、追<sup>お</sup>いかける夢<sup>ゆめ</sup>とか、恐<sup>こわ</sup>い夢<sup>ゆめ</sup>とかはいやですね。ヤコブはここで、神様<sup>かみさま</sup>の夢<sup>ゆめ</sup>を見<sup>み</sup>たのです！ 一つのはしがが地<sup>ち</sup>の上<sup>うへ</sup>に立<sup>た</sup>っています。そのてっぺんは天<sup>てん</sup>に達<sup>たっ</sup>しています。そしてそのはしごを、神<sup>かみ</sup>の使<sup>つか</sup>いたちが上<sup>のぼ</sup>ったり、下<sup>くだ</sup>ったりしているではありませんか。夢<sup>ゆめ</sup>を見<sup>み</sup>させてくださるのも、実は神様<sup>かみさま</sup>なのでしょう。

祈り

天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>、眠<sup>ねむ</sup>っている時<sup>とき</sup>に夢<sup>ゆめ</sup>を見るのも不思議<sup>ふしぎ</sup>です。あなたは夢<sup>ゆめ</sup>によっても正<sup>ただ</sup>しく導<sup>みちび</sup>いてくださり感謝<sup>かんしゃ</sup>です。

## 8月13日（水）



創世記 28・13～15

わたしはあなたの父アブラハムの神、イサクの神、主である。 13節

次の瞬間です！ 神様がヤコブのそばに立って言われます。「わたしはあなたの父アブラハムの神、イサクの神、主である。あなたが伏している地を、あなたと子孫とに与えよう」と。そして、子孫が地のチリのように多くなつて、まわりの人たちはヤコブと子孫とによって祝福されること。何より、神様はヤコブと共にいて、ヤコブがどこに行くとしても、彼を守り、この地に連れ帰る、そして、決してヤコブを捨てず、語ったことを行うと言われます。

いのちの祈り

天のお父様、ヤコブのための何とすばらしい約束でしょう！ これはまたあなたを信じる私のためでもあります。

## 8月14日（木）



創世記 28・16～17

これはなんという恐るべき所だろう。これは神の家である。これは天の門だ。 17節

眠りからさめて、神様とお会いしていた夢からもさめて、ヤコブは思わず叫びました、「まことに主がこの所におられるのに、わたしは知らなかった」。初めて家を離れ、なつかしい家族や、近所の人たちからも遠く離れて、たったひとりになっちゃって…と、とても淋しい悲しい思いをしていたヤコブには、大きな驚きであり、喜びだったのです。これは神の家（ベテル）だ、天の門だと心がひきしめる思いもしました。もうひとりではありません

いのちの祈り

天のお父様、ヤコブは初めてハッキリとあなたを見て、生まれ変わりました。わたしも心からあなたを信じます。

## 8月15日（金）



創世記 28・18～19

その所の名をベテルと名づけた。 19節

あなたにとっても「ここ！」という記念の場所がありますか？ もちろん、生まれた所はそうですよ。ヤコブにとって、ここ、ベテル（神の家）と名づけた場所は、記念の場所となりました。初めて、神様とお会いした忘れることのできない場所でした。つまり、新しく生まれ変わって、神様と共に歩きはじめた所です。身体が生まれた所以上に、魂が新しく生まれた所、罪を悔い改めて、ゆるされ神の子とされ、水のバプテスマを受ける所（母教会）は、もっと大きな記念の場所ですね！

いのちの祈り

天のお父様、わたしも本気であなたとお会いして、水のバプテスマを受けて、記念の場所ベテルをもちたいです。

## 8月16日（土）



創世記 28・20～22

安らかに父の家に帰らせてくださるなら、主をわたしの神といたしましょう。 21節

ヤコブは誓いを立てて、神様にお祈りします。が、たくさんの条件付きのお祈りです。「神がわたしと共にいてくださるなら」「わたしの行くこの道でわたしを守ってくださるなら」「食べるパンと着る着物をくださるなら」「安らかに父の家に帰らせてくださるなら」主をわたしの神といたしましょとね。そして、「神がくださるすべての物の十分の一をわたしは必ずあなたにささげます」と誓いを立てました。押しのける者ヤコブの性質がのぞいています。

いのちの祈り

天のお父様、わたしの祈りも、もしかしたら条件付きのお祈りになってしましたら、おゆるしくください。改めます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

創世記37・5～11

ヨセフ①神の計画

人は心に自分の道を考え計る、しかし、その歩みを導く者は主である。

箴言16・9

目標

神がご計画をもって自分の生涯を導かれることを覚え、生きる。

8月17日（日）

聖書  
聖句

箴言16・9

人は心に自分の道を考え計る、しかし、その歩みを導く者は主である。

9節

人はだれでも、自分の人生が「ああなればいいな」と思っていて、そうなるように一生けんめいです。でも、思ったような大人になれない人だっているね。その方が多いかも…。

人生は、ときどき「自分の思いどおりにいかないこと」を学ぶ学校みたいなもの。その人生の中で、やっぱり真の神様がいないと人は生きていけないし、あなたの人生をすばらしいものにしてくださるのは神様だと学ぼう。そして今どんなことが起きていても、神様の大きな計画が未来にあるって信じて行こうね。

いのちの祈り

天のお父様、わたしの未来を知り、計画をしてくださるあなたを信じます。

8月18日（月）

聖書  
聖句

創世記 37・5

ある時、ヨセフは夢を見て、それを兄弟たちに話したので、彼らは、ますます彼を憎んだ。

5節

今日から、ヨセフという人のお話だよ。

ヨセフは、ヤコブの12人の子どものの中では下から2番目。お父さんはヨセフがかわいくてしかたありません。でも、ほかの兄弟は、一番かわいがられるヨセフが憎かったみたい。

ヨセフには人とちがうところがありました。夢を見て神様のご計画を知ることができたのです。でも、兄弟たちはヨセフの夢の話聞いて、ヨセフのことをもっと憎いと思ったというのです。

いのちの祈り

天のお父様、今日からヨセフの話です。あなたがヨセフの人生を導くのを見て、たくさん学べますように。

8月19日（火）

聖書  
聖句

創世記 37・6

どうぞわたしが見た夢を聞いてください。

6節

人にはいろんな性格があるよね。やさしい子、明るい子、暗い子、いたずらっ子…。ヨセフはどんなだったか想像してみよう。

お父さんにいちばん愛されていたヨセフ。兄弟に嫌われているはずなんだけど、よくわかっていなかったのかな？ととてもうれしそうに、じまんみたいに夢のことを話しちゃった。

本当は、言葉も行いも気をつけられたいいんだけど、どんな人もカンペキではないね。でも、そういうことも、神様は知っていて、正しい人になれるよう導いてくださるよ。

いのちの祈り

天のお父様、わたしも、カンペキじゃなくて失敗ばかりですが、あなたが正しく導いてください。

## 8月20日（水）

聖書  
聖句

創世記 37・7

わたしの束が起きて立つと、あなたがたの束がまわりにきて、わたしの束を拝みました。 7節

ヨセフの見た夢は、ヨセフが畑で束を束ねていたとき、自分の束のまわりに兄弟の束ねていた束が来て拝んだというものです。

わたしたちが見る夢は「ああなったらいいな」とか「こうなったらどうしよう」という思いからくるけれど、ヨセフの夢はちがったんだ。その夢は神様が見せた、ヨセフの将来の姿。兄弟たちが、将来ヨセフを拝むようになるという意味だったんだね。

いの  
祈り

天のお父様、ヨセフに、夢の中でとくべつな計画を見せられたあなたのすばらしさを賛美します。

## 8月21日（木）

聖書  
聖句

創世記 37・8

彼の夢とその言葉のゆえにますます彼を憎んだ。 8節

かわいそうなヨセフ！ 夢のことを話したらもっと嫌われちゃったね！

なんで神様はヨセフに夢をみせたんだろ？ 夢さえ見なければお兄さんたちに話さずにいられたのに。夢の話をしなければこんなに嫌われなくてもよかったのに。

でもね、神様はふしぎなお方。人間が「どうして？」と思うような出来事も、神様のご計画の始まりなのかもしれないね、ヨセフみたいに。神様のご計画はわたしたちの想像をはるかに超えているね！

いの  
祈り

天のお父様、あなたがわたしたちのために持っておられる計画も、想像をはるかに超えてすばらしいと信じます。

## 8月22日（金）

聖書  
聖句

創世記 37・9～10

わたしはまた夢を見ました。日と月と十一の星とがわたしを拝みました。 9節

ヨセフは、神様によってまた夢を見ました。ときどき、神様を信じて生きるわたしたちも、まわりの人から見れば「夢見る人」みたい。神様なんか信じて、聖書の言葉なんか聞いて、「夢見てるんじゃない？」って嫌われることもあるかもしれない。

でもね、神様と神様のみ言葉とは真実で正しいことを、信じて生きてきた人たちが証明しているよね！

み言葉によって夢を見よう！

いの  
祈り

天のお父様、あなたは真実で正しいお方です。わたしも、あなたのみ言葉によって夢を見ます！

## 8月23日（土）

聖書  
聖句

創世記 37・11

しかし父はこの言葉を心にとめた。 11節

すべてのできごとを心にとめられる人であってほしいと思います。そう、すべてのこと。うれしいだけじゃなく、怒りたいようなこと、泣きたいようなこともぜんぶだよ。

ふつうなら、「悲しいことなんかわすれちゃいなよ」ってお友だちははげましてくれるかもしれないね。でも、もしあなたが心の中に「このできごとにもきっと意味があるはず」と、心にとめて生きていくとき、その意味を知る日がかならずやってくるのです！ そして、それは神様に感謝をささげる日になるよ！

いの  
祈り

天のお父様、わたしも、色々なできごとを心にとめて、いつかその意味を知る日に、あなたに感謝をささげます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

創世記39・19～23

ヨセフ②共にかみおられる神  
主がヨセフと共にことおられたから  
である。主は彼のことなす事を榮えさせられた。  
創世記39・23  
どんな状況じょうきょうの中でも神が共に  
おられることの幸さいわいを知る。

目標

8月24日(日)

聖書  
聖句

創世記39・23

主がヨセフと共にことおられたからで  
ある。主は彼のことなす事を榮えさせら  
れた。 23節

神様がかみさまいっしょなら、毎日まいにちにながおきてもど  
んなに心強こころづよいかわかるかな？

わたしたちは弱よわくてまちがいの多い人間にんげんだ  
から、しっばいやこまったこともたくさん起こ  
すよね。そして「神様はわたしとはいっしょに  
はいてくれないよ！」なんて思おもったりすること  
もあるかもしれないね。

でもね、そんなときこそ、心こころから神様にた  
より、祈り、自分じぶんから神様に近づくチャンスな  
んだよ。神様があなたといっしょにいて、あな  
たのマイナスをプラスに変えてくださるよ！

祈り 天のお父様、つらいときやこまったとき  
こそ、あなたがいっしょにいてわたしの  
マイナスをプラスにしてください。

8月25日(月)

聖書  
聖句

創世記 39・19

主人はその妻が「あなたのしもべは、  
わたしにこんな事をした」と告げる  
言葉を聞いて、激しく怒った。19節

ヨセフは、エジプトの王様に仕えるポテパルの  
家の奴隷になりました。神様がいつもヨセフ  
を祝福してくれたので、信頼され、家のすべ  
てをまかされるようになりました。でも、ポテ  
パルの奥さんはヨセフがかっこよかったので、  
いつもゆうわくしてきました。ヨセフがポテパ  
ルにも神様にも罪をおかさないように逃げた  
ら、奥さんはウソをついてポテパルをはげしく  
怒らせてしまったのです。

神様は本当のことをちゃんと知っているよ！

祈り

天のお父様、ポテパルの奥さんみたいに  
ひどい人がいても、ちゃんとあなたが  
知っていてくださるから感謝です。

8月26日(火)

聖書  
聖句

創世記 39・20

ヨセフの主人は彼を捕えて、王の  
囚人をつなぐ獄屋に投げ入れた。 20節

本当なら、ヨセフは死刑になるところだった  
けれど、ポテパルはヨセフを死刑にしないで、  
つかまえられた人たちが入れられる場所に入  
れたんだ。もしかしたら、ヨセフが悪いことを  
する人間ではないって知っていたのかも。

それでも、人間はいつ、だれの味方につくか  
わからないものだし、ガラッと態度を変えてし  
まうもの。そして、それをどうすることもでき  
ないことだってあるね。

決して変わらないのは神様だけ！

祈り

天のお父様、人間はいつか変わってしま  
うこと、どうにもできないこともあるこ  
とを知りました。ただいつも変わらない  
あなただけに信頼します。

## 8月27日（水）



創世記 39・21

主はヨセフと共におられて彼にいつくしみを垂れ、獄屋番の恵みをうけさせられた。 21節

お兄さんたちに売られて奴隷になったときも、こうしてポテパルの家から獄屋に入れられたときも、神様のヨセフへの態度は変わることがありませんでした。

こんなわたし、こんなときには、神様がいっしょにいてくれるはずがない、と思うのがわたしたち。でも、ちがうんだね。どんなに人や出来事が変わり、大切なものを失ったときでもそばにいてくださる、それが神様なんだね。

その神様の前で、あなたも変わらないで歩んで行くことがたいせつだね。

いの

祈り 天のお父様、ずっと変わらないあなたの前で、わたしも変わらないで生きていきますように。

## 8月28日（木）



創世記 39・22～23

獄屋番は彼の手にゆだねた事は、いっさい顧みなかった。 23節

獄屋に入れられたヨセフを、神様が守り、祝福してくださったので、フシギなことが起きました。なんと、そこにつかまえられて入れられている、すべての人たちをまかせられたのです！ヨセフもきつとびっくりしたよね。

神様を信じて生きるとき、あなたの生き方や考え方が、神様に喜ばれるものになっていくけれど、それって周りの人にも伝わるんだよ。「ああ、この人は信じられるな、素晴らしい人だな、なにかほかの人とちがうな」そんな風に思ってもらえる神様の子どもでいたいね。

いの

祈り 天のお父様、わたしも、あなたの子どもであることがまわりの人に伝わるくらい変えられていきますように。

## 8月29日（金）



創世記 39・23

主は彼のなす事を栄えさせられた。 23節

どうすればヨセフのように、どこにいても、どんなときも成功できるんだろう？

聖書はね、悪いことを計画したり、人をばかにするような友達といっしょにいたりしないで、いつも神様の教えを心に思いながら、喜んでしがう人が成功できるって言ってるよ。

もし、辛いことがあって、今はどうなるかわからないときでも、見ていてくださる神様の前で、自分のやらないといけないことを一生けんめいしていこうね、ヨセフのように！

いの

祈り 天のお父様、わたしも、どんなときも自分にできることを一生けんめいしていきます。あなたがいっしょにいてくださるからです。

## 8月30日（土）



ローマ 5・3～5

それだけではなく、患難をも喜んで。 3節

時代がちがうけど、パウロという人は、どんな苦しみの中でも喜んでいて言いました。

それは、イエス様の命を与えるほどに、わたしたちを愛してくださる神様が、もう永遠の苦しみから救ってくださったと知っているから。そして、今、苦しみがあっても、自分の力でがんばるのではなくて、神様を信頼するとき強くされることがわかったから。

神様は、あなたにも同じ愛と力をくださるよ。そして、その約束はぜったい変わらないよ。神様といっしょに、どんなときも歩むあなたでいてくださいね。

いの

祈り 天のお父様、変わらない約束をいただいで、あなたと歩んでいきます。





聖書  
テーマ  
暗唱聖句

創世記41・37～49

ヨセフ③聖霊に導かれる生涯  
われわれは神の霊をもつこのよ  
うな人を、ほかに見いだし得よう  
か。

創世記41・38

目標

聖霊を宿し、聖霊に導かれる  
生涯の幸いを覚える。

8月31日(日)

聖書  
聖句

創世記41・38

われわれは神の霊をもつこのよ  
うな人を、ほかに見いだし得ようか。

38節

「あなたってすごいね!」と言われて「エッ  
ヘンそうでしょ～わたしってすごい!」と思う  
のがふつうの人。でも、「あなたの信じている  
神様ってすごいね! あなたをそんなふうにし  
てくれる神様はほかにはいないね!」と言われ  
ることほど、神様を信じている人が言われてう  
れしいことはないよね! あなたのなかで生きて  
働いてくださる、神様の霊を見てほしいね。

そのために、神様を信じていることや、神様  
がしてくれたことを、だれかに伝えられるあな  
たでいてくださいね。

祈り

天のお父様、自分がほめられたときに、  
あなたがくださるたくさんの祝福をお  
話できる子どもにしてください。

9月1日(月)

聖書  
聖句

創世記41・37

この事はパロとそのすべての家来  
たちの目になかった。 37節

ヨセフの夢を解きあかす力で、王様の夢の  
意味も、どうすれば良いかもわかったので、エ  
ジプトの王様も家来たちもなっとくです!

わたしたちも、知らない人の前に立たされて  
色々聞かれることがあるでしょう。そういう  
人々たちをなっとくさせる話は、自分の力では  
できないね。でもね、神様の霊をもらうなら、  
神様が聖書の中からどう教え、どう導いてく  
ださるかははっきりとわかるようになるよ。

そして、それにしたがっていくときに知恵や  
勇気があふれだすよ!

祈り

天のお父様、人をなっとくさせるほどの  
知恵や勇気が、あなたの霊をいただいて  
あふれ出しますように。

9月2日(火)

聖書  
聖句

創世記41・39

神がこれを皆あなたに示された。あ  
なたのようにさとく賢い者はない。 39節

ヨセフは、自分の知恵が神様にもらったもの  
だということをわかっていました。

そして、そのことをはっきりとまわりの人にも  
言える人でした。「これは自分の知恵です」  
なんて、エラそうに言うことも出来たかもしれ  
ないけれど、そうしなかったんだ。

神様の霊をもらえる人、その力がはたらい  
てくださる人って、神様の前でいつも自分を低  
くし、すなおにできる人だよ。

祈り

天のお父様、知恵や力をくださるあな  
たの前に、エラそうにしない、すなおな  
心で過ごすことができますように。

## 9月3日（水）



創世記 41・40～43

わたしはあなたをエジプト全国のつかさとする。 41節

とうとう、ヨセフはエジプトで2番目に偉い人になったのです。昨日までは奴隷、囚人だったのに！ そんなことが起きるなんて、ミラクル！ 神様がしてくれたとしか言えないね！

王様は、自分がヨセフをえらんだと思っているかもしれないけれど、エジプトの王様の心も動かすほどの神様の力が、働いていたことを忘れてはいけません。

ヨセフがそうだったように、神様の霊が、あなたをとおして、たくさんの人の心や考えや行いを変えていきますように。

**祈り** 天のお父様、王様の心も動かすほどのあなたの霊が、わたしをとおしても働いてくださいますように。

## 9月4日（木）



創世記 41・44～45

あなたの許しがなければエジプト全国で、だれも手足を上げることはできない 44節

王様がヨセフの中に、目には見えないけれど生きて働く神様の霊を見たので、ヨセフには、エジプトでの最高の権力が与えられました。

そして、エジプト人の名前と、エジプト人の地位の高い家から、お嫁さんをもらいました。

こうして、ヨセフはエジプトの国中で仕事をするようになったのでした。だれもヨセフのことを、エジプト人が嫌っていたイスラエルの羊飼いだとは思いません。心配せずに、神様の大きな守りの中で過ごすことができたのです。

**祈り** 天のお父様、ヨセフを守られたあなたの大きな守りの中で、安心して過ごせますように。

## 9月5日（金）



創世記 41・46

ヨセフがエジプトの王パロの前に立った時は三十歳であった。 46節

ヨセフは17才のときにエジプトで奴隷になったので、13年もの間、苦しくて辛い生活をしてきたことになるね。

でも、最初は自信たっぷりでお兄さんたちを思いやることができない人だったのに、奴隷の生活の中で、人のために働くことや、人を気づかうこと、神様がどんなときもいっしょにいてくださることが心からわかる人にされたよ。

きっとその13年はヨセフがエジプトですばらしい働きができるようになるための訓練だったし、必要な時間だったんだね！

**祈り** 天のお父様、苦しい時間も、未来のわたしのために必要な訓練であることを教えてくださり感謝します。

## 9月6日（土）



創世記 41・47～49

ヨセフは穀物を海の砂のように、非常に多くたくわえ、量りきれなくなったので、ついに量ることをやめた。 49節

ヨセフは、豊作の7年間に、その後にくる7年の飢きんのじゅんぴをしました。畑はどこも豊作で、どの倉庫もあふれるほどでした。飢きんが起きててもだいじょうぶ！

もし、ヨセフに神様の霊が働いてくださらなかったら、飢きんのじゅんぴができないだけでなく、エジプトの国は滅びていました。

それだけではなく、エジプトにたくわえた作物で、まわりの国、ヨセフの家族も救われることになったのです。神様の計画はすごいね！

**祈り** 天のお父様、あなたの知恵や計画は人間にはないものです。あなたに従って行きます。

ラリー・デー



聖書  
ラリー・デー  
暗唱聖句

創世記45・1～15

ヨセフ④最善に導かれる神

それゆえわたしをここにつかわしたの  
はあなたがたではなく、神

です。  
創世記45・8  
摂理の御手で最善に導かれる  
神を信じる。

目標

9月7日(日)

聖書  
聖句

創世記45・8

それゆえわたしをここにつかわしたの  
はあなたがたではなく、神です。  
8節

運命ってわかる？ 自分の力で変えることが  
できない人生の道のこと。なにか悪いことが  
起きて、運命だからしかたないやってあきら  
める人生だね。でも、ヨセフの人生は運命の  
人生ではなく、神様の摂理を信じる人生なん  
だ！

それは、神様が、わたしたちの命もすべて  
のことも支配していて、ご計画の中で生かして  
くださると信じる人生のことだよ。どんなこと  
が起こっても、神様が一番良いようにしてくだ  
さると信じられる人生を生きていきたいね。

祈り  
天のお父様、わたしも、あなたの摂理を  
信じる人生を生きたいです。

9月8日(月)

聖書  
聖句

創世記 45・1～3

わたしはヨセフです。 3節

ヨセフがたくさんさくもつの作物をたくわえていた  
ので、周りの国の人たちが作物を買いにエジプ  
トに来ました。その中に、ヨセフをエジプトに  
売ったお兄さんたちもいたのです。そういえば、  
昔見た夢のことがありましたね。お兄さんた  
ちがヨセフにおじぎをするようになるって！

お兄さんたちも、ヨセフがエジプトで二番目  
に偉い人になっていることを知らなかったの  
で、ヨセフが名前を言ったとき、きっと恐く  
なっかし、仕返しされてもしかたないと思っ  
たでしょうね。けれども、これが、神様の用意さ  
れた「時」だったのでした。

祈り  
天のお父様、あなたが用意される「時」  
があることを、わたしも信じます。

9月9日(火)

聖書  
聖句

創世記 45・4～5

神は命を救うために、あなたがた  
よりさきにわたしをつかわされたの  
です。 5節

お兄さんたちにエジプトに売られたヨセフ。  
でも、もう怒っていませんでした。ヨセフには、  
その意味が神様のご計画だったことを、はっき  
りと分かっていたからです。

若いときのヨセフにはわからなかっただろ  
うね。でも、長い時間の中で、神様がヨセフを  
かしく成長させてくれました。そして神様  
は、お兄さんたちも、お父さんや兄弟のこ  
とを大切に思う人間に成長させてくださって  
いました。

あなたにも神様のご計画があるんだよ！

祈り  
天のお父様、わたしも、はっきりとあな  
たのご計画の意味がわかるように、かし  
こく成長させてください。

## 9月10日（水）

聖書  
聖句

創世記 45・6～7

神は、あなたがたのすえを地に残すため、また大いなる救いをもってあなたがたの命を助けるために、わたしをあなたがたよりさきにつかわされたのです。 7節

神様は命を救わせる神様ですね。

まだこのときは、エジプトとヨセフの家族だけが飢きんから救われているように見えるけれど、ここからイスラエルの国ができ、イエス様の生まれる時代へとつながっていくのです。

そう考えていくと、神様のご計画はなんて大きいんだろうね！ この、罪だらけの世界の中で、イエス様を信じるわたしたちには永遠の救い、永遠の命があるのだから！

いの

祈り 天のお父様、命を救われるあなたの計画がわたしのところにもとどいていくことを感謝します。

## 9月11日（木）

聖書  
聖句

創世記 45・8

それゆえわたしをここにつかわしたのはあなたがたではなく、神です。 8節

あなたは、お友だちやだれかに傷つけられ、苦しめられるとき、どんなことを考える？

傷つけた人のことを心の中できらったり、せめたり、どこかに行け！って思えますか？

そんなときはヨセフのことを思いだしてください。ヨセフは自分の目ではなく、神様の目で人やできごとを見ていますよ。

あなたを苦しめる人が神様に救われるように、神様は今日もあなたをつかわしておられることをわすれないでね！

いの

祈り 天のお父様、わたしも、自分の目ではなくあなたの目で見ることができるよう。だれかが救われるためにわたしをつかわしてください。

## 9月12日（金）

聖書  
聖句

創世記 45・9～13

神がわたしをエジプト全国の主とされたから、ためらわずにわたしの所へ下ってきなさい。 9節

人間は、なんでもできる力やお金があると、それを自分だけで手に入れたような気もちになってしまうね。でも、ヨセフは自分が偉いことも、力があることも、自分で手に入れたとか、自分の自由にしようとは思っていないね。だれかを助けるために使ってるよね。

もし、あなたに力や知恵や宝ものがあるなら、神様にいただいていることを感謝して、困っている人を助けるために使ってくださいね。

いの

祈り 天のお父様、力や宝ものはあなたからいただいたものです。だれかのために役立てられる子どもにしてください。

## 9月13日（土）

聖書  
聖句

創世記 45・14～15

ヨセフはすべての兄弟たちに口づけし、彼らを抱いて泣いた。そして後、兄弟たちは彼と語った。 15節

お金も知恵も力も持っているヨセフだったけれど、きつとこのときまでは心にボカーンと大きな穴が開いていたんじゃないかなあ？

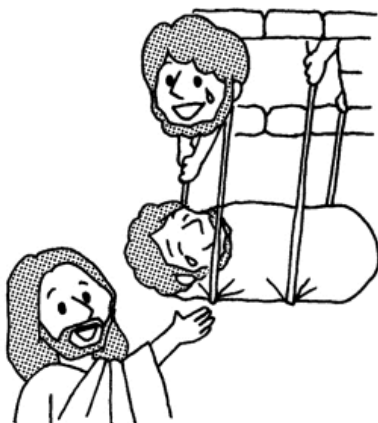
昔はお兄さんたちを思いやれなかったヨセフ、ヨセフをきらいだったお兄さんたち。

神様は、長い長い苦しみやできごとの中で、兄弟どうしの悪い関係を良いものに変えて、本物のなかなかおりをさせてくださったよ。

神様といっしょに歩むなら、わたしたちにもこんな日がくるね！

いの

祈り 天のお父様、わたしもあなたといっしょに歩んで、どんな人とも良い関係になっていきますように。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 9・1～8

罪を赦すお方

子よ、しっかりしなさい。あなたの罪はゆるされたのだ。

マタイ 9・2

目標

あらゆる祝福に先だって、罪の赦しの恵みを受け取る。

9月14日（日）

聖書  
聖句

マタイ 9・1～8

子よ、しっかりしなさい。あなたの罪はゆるされたのだ。 2節

中風という病気を知っていますか？ 手や足が痛くてふるえる病気です。友だちはその中風で苦しんでいる人を床の上に寝かせたままでイエス様のもとに運んできました。イエス様はその友人たちの信仰を見て、中風の人にむかって言われました、「子よ、しっかりしなさい。あなたの罪はゆるされたのだ」と！ えっ!? 罪がゆるされたですって!? と、本人もみんなも思ったでしょう。病気より罪がゆるされる方が大事なのです。

いの祈り

天のお父様、病気になった時、もしかしてあなたにそむくような罪を犯していないか考えてみることにします。

9月15日（月）

聖書  
聖句

マタイ 9・1～8

人の子は地上で罪をゆるす権威をもっていることが、あなたがたにわかるために。 6節

「そんな一っ!? 罪をゆるせるのは神しかないはずだ、この人は神を汚している」と、律法学者たちは心の中でぶつぶつ言ったのです。それをイエス様はちゃんと見抜いておられました。そして今度は、中風の人に、「起きよ、床を取り上げて家に帰れ」と言われました。するとどうでしょう! 彼は起きあがって家に帰って行ったのです。病気をいやす力も罪をゆるす力もみんなイエス様は持っておられるお方です。

いの祈り

天のお父様、病気がなおることよりも、罪がゆるされて、滅びから救われるということが大切だとわかります。

9月16日（火）

聖書  
聖句

イザヤ 43・22～28

わたしこそ、わたし自身のためにあなたのとがを消す者である。わたしは、あなたの罪を心にとめない。 25節

神様は、どんなにかわたしたちの罪やとがをゆるしたい、きよめたいと願っていらっしゃるかが旧約聖書の中にもいくつも記されています。ご自分の愛する民イスラエルのために、いえ、それは神様自身のためだと言われます。「とがを消す」黒板消しで、サーッとぬぐうと、何が書かれていたのかわからなくなります。そのように私のとがやあやまちを消し去ってくださり、罪を心にとめないと言ってくださいます。

いの祈り

天のお父様、罪ほど心を苦しめるものはないのに、それを消し去り、心にとめないと言ってください感謝します。

9月17日(水)

聖書  
聖句

イザヤ 44・21～23

わたしはあなたのとがを雲のように  
吹き払い、あなたの罪を霧のように  
消した。 22節

青い空に浮かぶ白い雲、時には灰色の雲や、  
黒っぽい雲。ずっとそこにいるように見えるの  
もあれば、急ぎ足で飛んでいってしまうものも  
あります。そんな雲のように、神様が私のと  
がを吹き払って、どこに行ったのか見えなくし  
てくださる！霧はめったに見えないかもしれ  
ませんが、もや一つとかかる霧がサーッと晴れ  
てなくなってしまうように、私の罪もサーッ  
とかき消してどこに行ったかわからなくして  
くださいます。

いの  
祈り 天のお父様、あなたが私のとがを雲のよ  
うに吹き払い、罪を霧のように消して晴  
れやかな心にしてくださり感謝です。

9月18日(木)

聖書  
聖句

エレミヤ 31・31～34

わたしは彼らの不義をゆるし、もは  
やその罪を思わない。 34節

犯してしまった罪を忘れさせないで何度も思  
い出させては、私たちを苦しめるのは悪魔です。  
「あれ、やっただろう！」って、訴えてくるの  
です。でも神様はちがいます。「わたしはゆるし  
ますよ、そして、もうその罪については思わな  
いことにしています」って！神様が、心にと  
めなかったり、忘れたり、思わないなんてでき  
るのでしょうか？ できるのです。神様がご自分  
でそうおっしゃっておられるのですから！

いの  
祈り 天のお父様、罪を罰することのできる  
たったひとりのあなたがゆるしてくださ  
り、忘れてくださるとは恵みです。

9月19日(金)

聖書  
聖句

Iヨハネ 1・5～7

御子イエスの血が、すべての罪から  
わたしたちをきよめるのである。 7節

わたしたちのどうしようもない罪がゆるさ  
れるたった一つのわけがここにあります。罪を  
犯す人は必ず死ななければならないのです。  
昔は羊や山羊の上に自分の罪をかぶせて、そ  
の動物を殺して血を流しました。今、私たち  
のためにイエス様が十字架で死に、血を流して  
くださいました。一つの罪も犯されなかったイ  
エス様の清い血が流されて、私の身代わりと  
信じるなら、すべての罪からきよめられるので  
す。

いの  
祈り 天のお父様、ほんとうに「すべての罪」  
から私をきよめてくださるイエス様の  
血の力を覚え、光の中を歩みます。

9月20日(土)

聖書  
聖句

Iヨハネ 1・8～10

もし、わたしたちが自分の罪を告白  
するならば、神は真実で正しいかた  
であるから、その罪をゆるし、すべ  
ての不義からわたしたちをきよめて  
下さる。 9節

ですから！何よりもまず一番に、私たちは  
罪をゆるしていただくことを求めていますよ  
う。病気がなおっても、罪がゆるされていない  
なら、それはついには永遠の滅びにいたる病気  
なのです。どうしますか？「自分の罪を告白す  
る」のです。「言いあらわして、お祈りする」の  
です。キャンプでした人もありますか。牧師先生  
にお話して罪を告白して、ゆるしきよめてもら  
いましょう。

いの  
祈り 天のお父様、イエス様の十字架を私の罪  
の刑罰の身代わりと信じ、罪を告白しま  
すので、ゆるしきよめてください。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 10・1～16

弟子たちの派遣

わたしがあなたがたをつかわすのは、羊をおおかみの中に送るようなものである。マタイ 10・16  
主に遣わされた者として生きる者となる。

目標

9月21日（日）

聖書  
聖句

マタイ 10・1～4

イエスは十二弟子を呼び寄せて、汚れた霊を追出し、あらゆる病氣、あらゆるわずらいをいやす権威をお授けになった。 1節

今週は、イエス様が12人の弟子たちを選ばれ、つかわされる場面です。ペテロ、アンデレ、ヤコブ…、みなさんは12人の名前を知っていますか？この12人、性格も、考え方も、できることも、み～んなバラバラ。はて、これでいっしょにやっていけるのかしら…。

でも、これがイエス様の選びかた。わたしたちは、この人がいい！あの人はダメ…と自分の都合で選んでしまいがち。でも、イエス様は違います。イエス様にとっては、み～んな必要な一人一人。あなたも選ばれている一人ですよ。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様が、わたしのことも選んでくださったことを感謝します。

9月22日（月）

聖書  
聖句

マタイ 10・5～7

行って、「天国が近づいた」と宣べ伝えよ。 7節

イエス様が弟子たちを選ばれたのは、彼らがたくさんの人々に仕えるためでした。弟子たちをつかわされる時、大切なお話をなさいました。「人々のところに行ったら、『天国が近づいた！』と伝えなさい。天国が近づいた、というのは、「罪を悔いあらためて、神様を信じなさい。神様を心におむかえしなさい」という意味があります。

どんな良いことをしてあげるよりも、神様のことを伝えることが、いちばん良いことなのです。いつでも、どこに行くときも、「神様のことを教えてあげたいな」と心に思いながら、チャンスを見つけて伝えたいですね！

いのちの祈り

天のお父様、神様を伝えるチャンスを、たくさん与えてください。

9月23日（火）

聖書  
聖句

マタイ 10・9～10

財布の中に、金、銀または銭を入れて行くな。 9節

次にイエス様は、「旅には、お金は持っていないこと。袋も、着がえも、靴も、杖も、持っていないこと」と弟子たちに言われました。つかわされたら、しばらく帰ってこられません。それなのに、どうしてイエス様はこう言われたのかな？

それは、弟子たちが、目に見えるお金や物のたよりに頼らないで、神様に頼るためでした。お金や物が必要な時は、神様が与えてくれる！と信じるためでした。わたしたちも、遣わされる時は神様だけを頼って祈りましょう。それがいちばん安全、安心。あなたに必要なものをいちばん知っておられるのは、神様なんですから。

いのちの祈り

天のお父様、わたしに必要なものは、あなたが与えてくださると信じます。

## 9月24日（水）



マタイ 10・11～12

その家にはいったなら、平安を祈ってあげなさい。  
12節

弟子たちは、つかわされた町では、町の誰かの家に泊まることになりました。イエス様は、「その家のために、平安を祈ってあげなさい」と言われました。

「神様からの平安がありますように！」と人々のために祈る。これは大切な使命です。人間は誰でも、心に平安がほしいのです。不安が良い人なんていません。わたしたちは、神様がいつもいっしょだと知っているし、天国があることも知っています。これは決して無くならない、本当の平安。でも、神様を信じていない人は、この平安がありません。人々の平安を祈るために、イエス様があなたをつかわされます！

**祈り** 天のお父様、わたしの周りにいる人々が、本当の平安を持つことができますように。

## 9月25日（木）



マタイ 10・13～15

その平安はあなたがたに帰ってくるであろう。  
13節

つかわされた弟子たちが、神様を伝えるためにせっかく町に入っても、お話を聞こうとしない人々がいました。「うちには来ないで！」と家に入れてくれない人々もいました。

それは、いつの時代でも同じこと。わたしたちの周りにも、「神様の話なんて聞かなくていいよ」と思っている人々はいます。でも、神様のことを伝えて無駄になることはないんです。伝えたぶん、神様からの恵みと平安が、あなたにド〜ンと帰ってくるのです！「断られたら意味がないよ…」とガッカリしないでください。このイエス様の言葉を思い出して、伝えつづけていきましょう！

**祈り** 天のお父様、あなたのことを伝えたら、恵みと平安が帰ってくることを信じます。

## 9月26日（金）



マタイ 10・16

わたしがあなたがたをつかわすのは、羊をおおかみの中に送るようなものである。  
16節

羊をおおかみの中に送ったら…、襲われて食べられてしまいますね！まるで、おおかみの群れが羊をねらうように、いろんな人に神様を信じることを反対されたり、邪魔をされることがあります。平和でな〜んにもない、ということはないのです。「そんなのいや…」と思いますが、イエス様はハッキリとそう言われました。

でも、覚えていてください。イエス様の本当の弟子は、反対や邪魔をされるのです。それがイエス様の弟子の姿。あなたが落ちこまないように、イエス様は最初に教えてくださったのです。

**祈り** 天のお父様、邪魔や反対をされた時は、このイエス様のみことばを思い出せますように。

## 9月27日（土）



マタイ 10・1～16

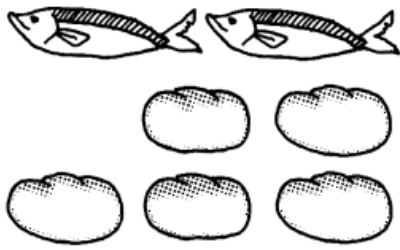
だから、へびのように賢く、はとのように素直であれ。  
16節

へびのように賢く？ はとのように素直とはなんでしょう？ それは、神様のみ言葉に従う賢さと、神様を信じつづける素直さをもつこと。それが、本当に賢く素直な人なのです。

神様のことを伝えるために、つかわされていくわたしたち。家族のところ、学校や近所のお友だちのところ、あなたが行くところすべては、つかわされている場所。あなたしか行くことのできない場所に、イエス様がつかわされます。イエス様の言われた賢さと素直さがあれば、どんな場所につかわされても、きっと乗りこえて行くことができます！

**祈り** 天のお父様、つかわされた場所で、あなたのみ言葉に従い、あなたを素直に信じつづけることができますように。





聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 14・13～21  
祝福される献げ物  
パンくずの残りを集めると、  
十二のかごにいっぱいになっ  
た。 マタイ 14・20

目標

所有する物、また自分自身を、  
神に献げる。

9月28日（日）

聖書  
聖句

マタイ 14・13～21  
パンくずの残りを集めると、十二  
のかごにいっぱいになった。 20節

そこには、イエス様のお話が聞きたくて  
やってきていた大勢の人がいました。男の人  
だけでも五千人！女の人や子どもたちを入  
れると一万人はゆうに超えていました。食べ物  
はと言えば、パン五つと魚二ひき。えー?! そ  
れじゃどうにもならないでしょ。ところがです。  
イエス様にお献げしたら、イエス様の感謝のお  
祈りで、パンと魚は弟子たちの手で配られ、な、  
なんと！食べこぼしたパンくずが十二のかご  
いっぱい！

いの  
祈り

天のお父様、どんな小さなわずかなもの  
もイエス様の御手にさし出すと、すばら  
しく奇跡的に用いられ感謝です。

9月29日（月）

聖書  
聖句

マタイ 14・13～1  
イエスはこのことを聞くと、舟に  
乗ってそこを去り、自分ひとりで寂  
しい所へ行かれた。 13節

「このこと」というのは、バプテスマのヨハ  
ネさんが獄の中で首を切られて死んだという  
ことでした。イエス様はとても悲しまれ、ひと  
り静かに神様にお祈りに行かれたのですね。  
私たちも心が痛くなる時には神様のところ  
に行って静まりましょう。しかし、人々はイエ  
ス様の所に歩いてあとを追いかけてきまし  
た！それほどにもイエス様のお話が聞きた  
かったのです。さあ、私たちは？教会学校で  
しっかり聞こうね。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様のあとを追いかけて  
までお話を聞きにきた人々のように、私  
もしっかり聞きたいです。

9月30日（火）

聖書  
聖句

マタイ 14・15～17  
わたしたちはここに、パン五つと魚  
二ひきしか持っていない。 17節

夕方になり、人々の心と魂は、イエス様の  
お話で満たされましたが、お腹がすいてきま  
した！弟子たちが「もう解散させて、それぞ  
れ食べ物を買いに行かせましょう」と言う  
と、「いや、あなたがたの手で食物をやりなさい」  
と言われます。弟子たちは、「エーッ！イエス  
様、ここにはパン五つと魚二ひきしかありませ  
ん」と言います。実はそれは、小さな少年の、  
その日のお弁当でした（ヨハネ 6・9）。どうな  
る！？

いの  
祈り

天のお父様、その時の弟子たちや少年の  
ように、私も小さい物しか持っていませ  
ん。でもお献げしていきます。

## 10月1日（水）



マタイ 14・18～19

イエスは言われた、「それをここに  
持ってきなさい」。 18節

イエス様が、「それをここに持ってきなさい」と言われます。あなただったらどうする？  
「いやだ！ これはね、ボクのお弁当なんだから、ダメ！」って言う？ この子どもも弟子たちも、「ハイ」と素直にイエス様にさし出したのです。「草の上にすわりなさい」と人々に言い、パンと魚を手のひらにのせ、天を仰いで祝福し、パンをさいて弟子たちに渡すと、弟子たちはそれを人々に与えました。どんどんどんどんとね！

いの  
祈り

天のお父様、何という心 暖まるイエス様の愛のみわざでしょう！ イエス様の手にのると祝福され用いられるのですね。

## 10月2日（木）



マタイ 14・19～21

みんなの者は食べて満腹した。20節

「みんなの者」って、何人いましたっけ？ 男の人だけでも五千人です。女の人や子どもを入れると一万人を超えた人たちです。そんな大群衆でしたよ。そのみんなの者が「食べて満腹した」のでした！！ たったの五つのパンと、たったの二ひきの魚ですよ！ 信じられな一い！ と思うようなすごい奇跡のみわざでした。そういうわけでこの人々は、イエス様のお話で心も満足、イエス様の奇跡でお腹もいっぱいになりました。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様と共にいることは素晴らしいことです。心もお腹も満たされます。ずーっと一緒にいます。

## 10月3日（金）



マタイ 14・20～21

食べた者は、女と子供とを除いて、  
おおよそ五千人であった。 21節

考えれば考えるほど、なんてスゴイ奇跡だと思いませんか！ きっと、一番オドロITE、カンゲキの頂点にいたのは、そのお弁当をイエス様におささげた少年だったにちがいありませんね！ 何しろ、そんな大勢の人々に、あの恥ずかしいような大麦のパン五つと小さな魚二ひきとが届けられて、名前も顔も全然知らないような人たちがみんな『満足』するほど食べたのですから。小さい私も小さい物もお献げしたいね！

いの  
祈り

天のお父様、イエス様の手にお献げする時、その祝福は知らない人々にさえ届くなんて、本当に嬉しいです。

## 10月4日（土）



マタイ 14・20～21

パンくずの残りを集めると、十二の  
かごにいっぱいになった。 20節

朝、パンを食べている人！ 今頃はだんだんご飯よりパンを食べる人が増えているのかな？ パンくずとありますがパン切れともあります。配り残し分もきっとまだあったのでしょ。それらの残りを集めると、十二のかごにいっぱいになりました。へえ、こんな小さなパンくず、パン切れが…？ 実は十二人のお弟子さんが一かごずつ持ったとして、明日の食べ物までイエス様が用意してくださったというわけです！

いの  
祈り

天のお父様、イエス様の奇跡はほんとに「至れり、尽くせり」です。心から喜んで私も持物も皆お献げします。